

アレンドロン酸錠35mg「DK」を 服用される患者さんへ

このおくすりは週1回1錠のむおくすりです。
(毎日のむおくすりではありません。)

1週間のうち都合の良い日を決めてください。

毎週1回、決められた日に1錠を裏面の手順でおのみください。

- 胸やけ、嚥下時の痛み、のみ込みにくさを感じた場合には、すぐに主治医または薬剤師にご相談ください。
- もしのみ忘れた場合には、気づいた日の翌朝に1錠をおのみください。次からは、決められた日におのみください。
決して同じ日に2錠をのまないでください。
- のみ方についてご質問がある場合には、主治医または薬剤師にご相談ください。

おくすりの効果を最大限に引き出し、口の中や食道への副作用を減らすため、次ののみ方を必ず守ってください。

- 朝、起きた時(食事の前)に1錠をコップ1杯(約180cc)の水(水道水や硬度の低いミネラルウォーター)と一緒にのみください。
- のんでから少なくとも30分間は横にならず、水以外の飲食、他のおくすりの服用はさけてください。
(のんでから30分以上すぎて横になる場合は、最初の食事をとってからにしてください。)
- このおくすりをかんだり、口の中で溶かしたりしないでください。

- アクトネル錠
- ダイドロネル錠
- フォサマック錠
- ペネット錠
- ボナロン錠
- ボノテオ錠
- リカルボン錠
- アレディア点滴静注用
- ソメタ点滴静注用
- テイロック注射液
- アレンドロン酸ナトリウム錠
- リセドロン酸ナトリウム錠
- その他

年 月 日から **ビスホスホネート系薬剤**
 (年 月 日まで) を使用しています

⚠ 歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがあるので、抜歯等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の可否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

S-1408]2A2N
2012年1月作成

歯科・口腔外科を受診する場合は
このカードをご提示ください

私はビスホスホネート系薬剤による
治療を受けています

病院名・薬局名(連絡先)

🌿 これからこの薬剤で 治療される患者さんへ



- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり抜歯などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

🌿 この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。



- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など